

ZEPHYROS

ゼフュロス No.48

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado. Madrid.

プラド美術館所蔵 **ゴヤ** 光と影
Goya: Luces y sombras
Obras Maestras del Museo del Prado

会期：2011年10月22日(土)～2012年1月29日(日)

プラド美術館所蔵 **ゴヤ** 光と影

Goya: Lights and Shadows. Masterpieces of the Museo del Prado



《着衣のマハ》1800-07年頃

油彩/カンヴァス

国立プラド美術館 Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado. Madrid.

プラド美術館の《巨人》をめぐる一昨年の報道は、多くの方々のご記憶に新しいことと思います。かつて国立西洋美術館でも公開され、ゴヤの代表作のひとつとして日本でもよく知られていた絵ですが、素材や技法についての詳細な分析の結果、ゴヤの真作ではなく、おそらく彼の弟子によるものであるという見解を、プラド美術館がみずから発表したのです。この件に限らず、ゴヤに関する研究は今日もおもしろい発見をもたらしています。プラド美術館の全面的協力を得て開催される今回のゴヤ展は、そうした近年の研究成果を取り入れて企画されました。展示会は全部で14のセクションにより構成され、それぞれのセクションは、ゴヤが残した膨大な作品の中から特徴的な主題やトピックを拾いあげます。副題

に掲げた「光と影」というキーワードのもとで、さまざまな切り口からゴヤの画業の断面を示し、それらの断面を通じて彼の芸術の核心に近づいてゆくことが本展の狙い입니다。

18世紀後半から19世紀初めまでの時代を生きたゴヤの芸術は、歴史的な大変動のさなかにあったスペイン社会の光と影を映し出しています。地方の職人の息子から国王カルロス4世の首席宮廷画家へと登りつめ、首都マドリードで名声を勝ち得るまでの前半生の作品には、泰平の世を謳歌する宮廷人や民衆の姿が描かれています。しかし、ナポレオンの侵略によりスペインの平和が覆されると、老年期のゴヤは、独立戦争とそれに続く混乱に見舞われた民衆の悲惨な現実をあるがままに見つめ、その証言を残



《戦争の惨害〔戦争の惨禍〕30番のための準備素描〕1811年頃
 淡彩、鉛筆、ペン・セピア/簀目紙
 国立プラド美術館
 Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado. Madrid.



《蝶の牡牛〈素描帖G〉53番〕1824-28年
 コンテ、鉛筆/灰色の簀目紙
 国立プラド美術館 Archivo Fotográfico,
 Museo Nacional del Prado. Madrid.

しました。彼はまた、宗教や闘牛というスペイン社会の伝統にも、光と影の両面——信仰による救いと異端審問の不寛容、闘牛の華々しい熱狂と陰惨な死——を見いだします。さらに、ゴヤの眼差しは、現実を超えたものにも向けられました。彼は知識人たちとの交友を通じて啓蒙主義の思想に触れる一方、理性の対極にある夢や幻想が芸術の源泉であることも意識していました。内面に潜む不条理なヴィジョンへの執着は、年齢を重ねるにつれてますます深まり、近代絵画の先駆とも言われるユニークな作品群が生み出されます。

最晩年にも衰えを知らなかったゴヤの並外れた創造意欲は、人間への飽くなき好奇心と一体であったろうと思われます。彼は絵筆によって人間の理性や優美さを称える

とともに、愚かな欲望や暗い幻想、暴力的な衝動もまた人間の本質的な一面であることを示してみせました。激動の時代に、深い洞察力をもって人間と社会の諸相を捉えたゴヤの芸術は、今日の私たちにも何かを語りかけることでしょう。

(国立西洋美術館学芸課長 村上博哉)

プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影

一般 1500円 (1300円)

大学生 1200円 (1000円)

高校生 800円 (650円)

中学生以下…無料

* ()内は20名以上の団体料金

* 本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

* 12月20日～2012年1月9日は高校生の観覧料は無料です。

表紙 (Title Page) :

《ホペリャーノスの肖像》1798年

油彩/カンヴァス

国立プラド美術館

Archivo Fotográfico, Museo Nacional del Prado. Madrid.

報告

国立西洋美術館 （ル・コルビュジェの建築作品— 近代建築運動への顕著な貢献—） の世界文化遺産登録について

平成23年6月19日から29日まで、パリ（フランス）のユネスコ本部において第35回ユネスコ世界遺産委員会が開催され、我が国及びフランスなど6か国が共同で世界遺産に推薦していた、国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジェの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」（※1）についての審議が行われました。

今回の推薦は、2年前にセビリア（スペイン）で開催された第33回世界遺産委員会の決議において「情報照会」（※2）とされたことを受けて、追加情報を提出した上で世界遺産委員会における再審議を求めたものです。

今回の世界遺産委員会においては、本件は6月28日に審議され、これまで世界遺産登録が必ずしも多くない近代遺産について、複数の大陸にまたがる6か国が協力して、「国境を越えたシリアル・ノミネーション」（複数国に所在する連続性のある資産の推薦）を行ったことは非常に有意義であるとされましたが、「顕著な普遍的価値」の十分な証明については委員国の意見が一致せず「記載」（※2）には至りませんでした。しかし、本件は、シリアル・ノミネーションの考え方を問う重要な推薦であることから、平成23年5月に世界遺産委員会の諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）から出された勧告の通りに「不記載」（※2）として議論を終わらせてしまうべきではなく、「記載延期」（※2）として世界遺産委



員会での議論を続けるべきものと決議されました。

決議後、推薦国を代表してフランスが、引き続きシリアル・ノミネーションとして努力していくことを表明しましたので、今後、関係国と協議の上、世界遺産登録に向けての対応を検討していくことになります。

世界遺産登録の実現のためには皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後の登録を目指し、外務省、文化庁、東京都及び台東区をはじめとする関係機関と連携し、より一層努力してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 「ル・コルビュジェの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」は、日本、フランス、スイス、ベルギー、ドイツ及びアルゼンチンの6か国が、これらの国に所在する近代建築の巨匠であるル・コルビュジェ（1887–1965）の19建築作品を一括して世界遺産一覧表に記載することを求めて共同推薦したものです。

※2：世界遺産委員会の決議は、「記載」、「情報照会」、「記載延期」及び「不記載」の4区分があり、「記載」は世界遺産一覧表に記載するもの、「情報照会」は追加情報の提出を求めた上で次回以降に再審議するもの、「記載延期」はより綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要で、推薦書を再提出した後、再度諮問機関の審査を受ける必要があるもの、「不記載」は記載にふさわしくないものです。

（国立西洋美術館副館長 秋葉 正嗣）

ファミリープログラム「どようびじゅつ」 親子で参加してみませんか？



「どようびじゅつ」は、当館の所蔵作品を親子（子どもの年齢は小学校低学年程度）と一緒に楽しむ、ファミリープログラムです。常設展の作品数点の鑑賞と、創作や身体を動かす体験などがセットになっています。

このプログラムの企画に何回か参加してみました。教育普及室の方とボランティア数人でプログラムを立ち上げていきます。はじめは漠然としています、**「三人よれば文殊の智慧」**という諺の通り、ミーティングを重ねるごとにプログラムが出来あがっていきます。そして、いよいよ「どようびじゅつ」本番。初めて出会う家族と一緒に展示室に入っていきます。プログラムが進むにつれ、緊張していた皆さんの表情が少しずつほころんでいきます。私たちがホッとする瞬間です。

私が企画に参加した「？どうやって描いたの？」の様子です。参加者全員で見た絵はマックス・エルンストの《石化した森》。ここはどんなところ？という問いに、「木がいっぱいあるから森かなあ〜」「月が出ている、夜の森だよ！」「でも空は青いよ！」と

答える子どもたち。この絵を見てどんな気持ちになる？と聞くと、「こわ〜い」「くら〜い」「気味が悪いわ」と大人からも言葉が出てきます。この絵はどうやって描いたと思う？には、「いろいろな色が重なっている」「こすってるみたいですね」「削っているところもある！」といろいろな発見がありました。その後はエルンストの描き方をヒントに、エコバッグ作りに挑戦です。どこの家庭にもある洗濯バサミ、スマキ、鍋敷き、セン抜き、クッキー型などの形を、タンポンと墨汁を使って布に自由にこすり取ります。ポンポン、ぺたぺた、大人も子どもも夢中になって、自分だけのエコバッグが出来上がりました。皆さんの喜ぶ顔が次の企画の原動力です。

（国立西洋美術館ボランティア 磯田 暉子）

常設展

一般 420円（210円）

大学生 130円（70円）

小・中学生・高校生及び18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方及び付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

*美術トーク、建築ツアー実施中。詳細は当館ホームページをご覧ください。

EVENT イベント

プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

講演会

2011年10月22日(土)
14:00~16:00

マヌエラ・メナ・マルケス
(プラド美術館18世紀絵画部長)、
ホセ・マヌエル・マティエリャ・ロドリゲス
(同素描・版画部長)
「(演題未定)」※同時通訳付き

2011年11月26日(土)
14:00~15:30

立石 博高
(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)
「ゴヤの生きた時代—啓蒙、革命、そして戦争」

2011年12月10日(土)
14:00~15:30

大高 保二郎 (早稲田大学文学学術院教授)
「二つの時代を生きた画家ゴヤ：その芸術と人間像」

2012年1月14日(土)
14:00~15:30

村上 博哉 (国立西洋美術館学芸課長)
「ゴヤと近代美術」

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

定 員：各回先着140名（聴講無料。ただし聴講券と本展の観覧券が必要です。）

参加方法：当日**12:00**より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます。

スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品についてスライドを使って解説します。

日 時：**2011年11月4日(金)、**
11月18日(金)、12月9日(金)、
2012年1月13日(金)
毎回18:00~(約30分)

会 場：国立西洋美術館講堂

解説者：豊田 唯

(早稲田大学大学院・日本学術振興会
特別研究員)

定 員：各回先着140名（聴講無料。ただし
本展の観覧券が必要です。）

※直接講堂にお越しください（開場
時間は各日とも開演の30分前）。

*講演会等の内容は急ぎよ変更となる場合があります。最新の情報は、当館ホームページ等でご確認ください。

Museum shop

ミュージアム
ショップ

新商品

- A4クリアファイル
2種類 315円 (税込み)

ミュージアムグッズとして定番のクリアファイルにA4版の新柄2種類が登場しました。

コルビュジエのデッサンを基にしたモノトーンのA4ファイルは、ビジネスのシーンでも違和感なくお使いいただける落ち着いたデザインとなっています。



A4
クリアファイル
2種類

Cafe

カフェすいれん



「ブラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影」特別メニュー

期間 2011年10月22日(土)～2012年1月29日(日)

- サバのすいれん風エスカベッシュ
950円 (税込み)

スペイン料理の冷たいオードブル、エスカベッシュ。
スペイン産のリオハ・ワインと一緒に。

- スペインワイン マルケス デ カセレス
ボトル 4,200円 (税込み)
グラス 700円 (税込み)

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。) 詳細については、当館HPをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2011年8月～2012年1月

休館日 土・日・祝日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
AUG 8																															
	大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美 (企画展示室) 7月5日(火)～9月25日(日)																														
SEP 9																															
	大英博物館 古代ギリシャ展 究極の身体、完全なる美 (企画展示室) 7月5日(火)～9月25日(日)																														
OCT 10																															
	プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影 (企画展示室) 10月22日(土)～2012年1月29日(日)																														
NOV 11																															
	プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影 (企画展示室) 10月22日(土)～2012年1月29日(日)																														
DEC 12																															
	プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影 (企画展示室) 10月22日(土)～2012年1月29日(日)																														
JAN 1																															
	プラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影 (企画展示室) 2011年10月22日(土)～2012年1月29日(日)																														

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

※保存・貸し出し等の状況により、当館の所蔵作品については、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

●常設展示

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

●お知らせ

- 開館時間等は変更になる場合があります。最新の情報は、下記問い合わせ等でご確認ください。
- 10月21日(金)は展覧会準備のため休館します。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中＝午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)、2011年10月21日(金)
*その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600

<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフェロス)はギリシャ神話の神々のひとりて、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第48号

編集・発行 国立西洋美術館/平成23年8月20日(年4回発行)
協力 (財) 西洋美術振興財団
印刷 (株) アイネット